

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本競技会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

## 2 練習について

練習は第二陸上競技場、雨天走路及び競技役員が指定する場所において、競技役員が指示のもとに行う。なお、棒高跳びについてはメインスタジアム内（棒高跳ピット及び周辺）で練習することができる。持ち込みの練習道具を使用するのは禁止である。

## 3 招集について

(1) 招集所は、南側サイドスタンド1階の倉庫に設ける。

全てのフィールド競技（跳躍および投てき競技は）に関しても招集場所でコールを受ける。

(2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	30分前	20分前
フィールド	50分前	40分前
	40分前	30分前

跳躍種目  
投擲種目

※プログラム内の「競技日程及び招集時間」のページに記載しているので確認すること。

(3) 招集の手順（※従来の手順から変更しています）

<トラック・フィールド競技>

① 競技者は、南側サイドスタンド1階倉庫に入場し、招集完了後、招集開始時刻までに招集所内に掲示してある各種目別集合場所（コーン・張り紙で掲示）に座って待機する。

② 競技者は招集完了時刻には招集所で待機し、最終点呼を受ける。なお、シューズの靴底の厚さの規定については、徳島陸上競技協会ホームページで確認すること。規定外シューズでの参加は認めない。競技終了後、規定外シューズでの出場を確認した場合は失格とする。※シューズの靴底の厚さの規定については徳島陸上競技協会HPで確認する。

③ 代理人による最終点呼は認めない。

(4) 混成競技出場者は最初の種目のみ、招集所で3の(2)に従って競技者係の点呼を受けるが、以後の種目については、招集完了時刻5分前までに本競技場ピットに集合して点呼を受け、係員の指示に従うこと。

(5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。

(6) 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

(7) 競技場へは係員の誘導により入場する。

(8) 競技場内では、静かに行動すること。特に、待機場所へ移動・到着後は競技進行の妨げにならないよう十分注意し、静かに待機しておくこと。

## 4 開門・受付について

(1) 準備のため、7時30分より開門する。学校受付は正面玄関にて8時から開始にする。

※この大会においては、競技開始が9時30分である。

※ブリーフィングは8時45分から始めます。

## 5 競技について

(1) 短距離走では、安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーンを走る。

(2) 棒高跳・走幅跳では、主催者が提供したマーカーを助走路外におくことができる。走高跳では、助走や跳躍の際、主催者が承認したものをおくことができる（マーカーは、薄く且つ競技者が踏んでも支障のないものであること）。

(3) 走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は3回の試技後、上位8名が残り3回の試技を行う。

(4) フィールド競技において2ピット（2つの競技場所）が必要と主催者が判断した場合は2つの競技場所で行う場合がある。また走幅跳・砲丸投においては、4回目以降の試技はプログラム順とする。

(5) トラック競技における腰ナンバーは各自で準備すること。1500m、3000mは両腰につけること。

(6) 競技中、競技者は助力を受けてはならない。助言・助力を受けている競技者は審判長によって注意され、くりかえし行われる場合には、その種目から除外される。

者はコーチングエリアからは助言をすることができる

(指導)

## 6 表彰について

(1) 各種目上位3位まで表彰する。3位以内に入賞した者は玄関ホールの表彰者待合スペースで待機すること。

## 7 競技用具について

競技用具は、主催者が準備したものを使用すること。（棒高跳のポールは各校が準備したものを使用する。）

## 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

( ) の中の高さが練習の高さとするが、天候等の条件で審判員の判断により変更する場合がある。

中学校	男子	走高跳	練習145cm 1回目・150cm 2回目・155cm 165cmまでは5cmごと以降3cmごと
		四種競技 走高跳	練習135cm 1回目・140cm 2回目・143cm 3cmごと
		棒高跳	練習は2m10・3m00 1日目2m20cm 2回目以降10cmごと
	女子	走高跳	練習120cm 1回目・125cm 2回目・130cm 130cmまでは5cmごと以降3cmごと
四種競技 走高跳		練習1m15cm 1日目・120cm 2回目・125cm 130cmまでは5cmごと以降は3cmごと	

## 9 引率者及び監督について

本競技会に出場するチーム・選手の引率者、監督、〈部活動指導員〉、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

## 10 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。競技規則146条に従って定められた時間内に、競技者自身またはチームを公式に代表する者が審判長（本部席の担当総務員に申し出る）に対して口頭で行い、指定された控え室で待機する。

## 11 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (3) 大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。
- (4) **撮影禁止エリアを設けるす1. スタプロ使用時のスタート前方と後方からの撮影禁止 2. 棒高跳び・走幅跳は助走路前方と後方から撮影禁止3. 走高跳は北側サイドスタンド(全て)からの撮影禁止但し、チームスタッフは北側サイドスタンドからの撮影を認める。（徳島陸協HPを確認すること）**

## 12 その他

- (1) 第51回全日本中学校陸上競技選手権大会の指定大会とし、参加標準記録突破者は、出場権を得る。また、都道府県で標準記録突破者が10名に満たなかった場合は推薦による10名以内の参加が認められる。ただし1人1種目である。
- (2) 競技中の傷害については、主催者が応急手当てをする。その後の処置については、スポーツ傷害保険による。なお、当協会はこの保険への加入を義務づけているので、未加入の競技者は至急に加入手続きをすること。
- (3) 緊急事態発生の際には、審判長や医師の判断により、競技を中止させることがある。
- (4) 競技場は常に清潔保持につとめ、紙くず等は必ず持ち帰ること。また、荷物等は各自が責任を持って管理し、盗難に十分注意すること。
- (5) 申込一覧表と参加費は大会当日受付で提出する。
- (6) アスリートビブス規定の変更により、男女とも白地のアスリートビブスにナンバーを記載したものを使用すること。
- (7) 悪天候等の理由により、競技会が競技開始後に中止になった場合は参加料の払い戻しを行わない。
- (8) 競技者の意に反する写真撮影等の迷惑行為を行う者を発見したときは、速やかに本部係員まで連絡すること。
- (9) **入場制限はしない。ただし、入場できる箇所として、第1～4のゲートからの入場は禁止する。（招集を受けた選手は例外）サイドの入り口、メイン正面・バックの出入り口のみ来場を許可する。**
- (10) 感染症状（発熱、喉の痛み、咳、関節痛等）がある場合は、大会への参加をお控えください。